受験生・保護者対象入試説明会[6/22(日)]で
課題図書発表！

国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際政治学科
地域行政学科

課題図書方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
小　論　文	課題図書に関する小論文 ＊課題図書の読解・要約・分析を求める論述問題や、課題図書に関する基礎的知識を問う設問を出題します。 ＊課題図書の持ち込み不可。	10:30～12:00	100点
出　願　書　類	志望理由書、自己アピール書	―	10点
面 接（個 別）	＊出願書類にもとづき行います。	13:00～	90点

※　選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

小論文100点 ＋ 出願書類10点 ＋ 面接（個別）90点 ＝ 200点満点

選抜方法／出願書類、課題図書に関する小論文および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会［2025年6月22日（日）］で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 著者の意見やその理由づけなど、課題図書の内容をしっかりと理解しましょう。読むだけでなく、課題図書の内容を、章ごとに文章にまとめたり、家族や友人に説明をしてみましょう。実際に表現をしてみることで、理解できているかどうかを確かめることができます。

2 課題図書を読んでわからなかったことや関心を持ったことを、調べてみましょう。課題図書で取り上げられている問題の背景を、より深く正確に理解することにつながります。また、わからないことを調べる力を伸ばすことができます。

3 課題図書が取り上げる問題や著者の意見に対する、自分自身の意見や考えをまとめてみましょう。文章で書いてみたり、家族や友人に説明することで、自分の意見や考えが伝わるかどうかを確かめてみましょう。

4 オープンキャンパスでの「入試対策講座」や「個別相談」を積極的に活用してください。これらに参加することで、総合型選抜では何が求められ、どのように準備をすればよいのかを、より具体的につかんでください。

出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

(1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～eのいずれかに該当する者

a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
c. 高等専門学校第3学年を修了した者（2026年3月に修了見込みの者を含む。）
d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（2026年3月に修了見込みの者を含む。）
e. 高校卒業程度認定試験（学校教育法施行規則第150条5号）に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者（大学入学資格検定による合格者を含む。）この出願資格については、2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート（カラー印刷）
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書（800字程度）

志望理由書に記載されている1）～4）の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

＊志望理由書に記載する事項
1）国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
2）本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
3）本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
4）大学卒業後の進路について考えていること。

d. 自己アピール書（600字程度）

＊自己アピール書に記載する事項
以下の1）～3）の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のままで結構です。
1）生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
2）検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
3）高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

e. 高校卒業程度認定試験の合格（成績）証明書または合格見込成績証明書（該当者のみ）

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください（106ページ参照）。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。
学力の3要素のうち特に思考力・判断力・表現力および主体性を多面的・総合的に評価します。

国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際政治学科
地域行政学科

指定資格方式

試験日
10/26(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
資　　格	—	—	100点
出　願　書　類	志望理由書、自己アピール書	—	10点
面 接 (個 別)	*出願書類にもとづき行います。	10:00～	90点

※　選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

資格100点 ＋ 出願書類10点 ＋ 面接(個別)90点 ＝ 200点満点

選抜方法／面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の(1)～(3)すべてに該当する者

(1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa～eの資格を1つ以上有する者
- a. ニュース時事能力検定試験 準2級以上
- b. 世界遺産検定 4級以上
- c. 実用英語技能検定(英検) 準2級以上
- d. 英検CSEスコア 1,728点以上
- e. GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上※オフィシャルスコアに限る

(3) 次のa～eのいずれかに該当する者
- a. 高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
- b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- c. 高等専門学校第3学年を修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)
- d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2026年3月に修了見込みの者を含む。)
- e. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2026年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2025年9月8日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

a. 出願シート(カラー印刷)
b. 出身学校調査書
c. 志望理由書(800字程度)

志望理由書に記載されている1)～4)の事項について志願者本人が自筆で記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。

*志望理由書に記載する事項
1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
4) 大学卒業後の進路について考えていること。

d. 自己アピール書(600字程度)

*自己アピール書に記載する事項
以下の1)～3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のままで結構です。
1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
f. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーをA4判にて提出してください。

(注) a、c、dは本学所定の用紙です。インターネット出願から印刷してください(106ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

出身学校調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。
学力の3要素のうち特に知能・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。